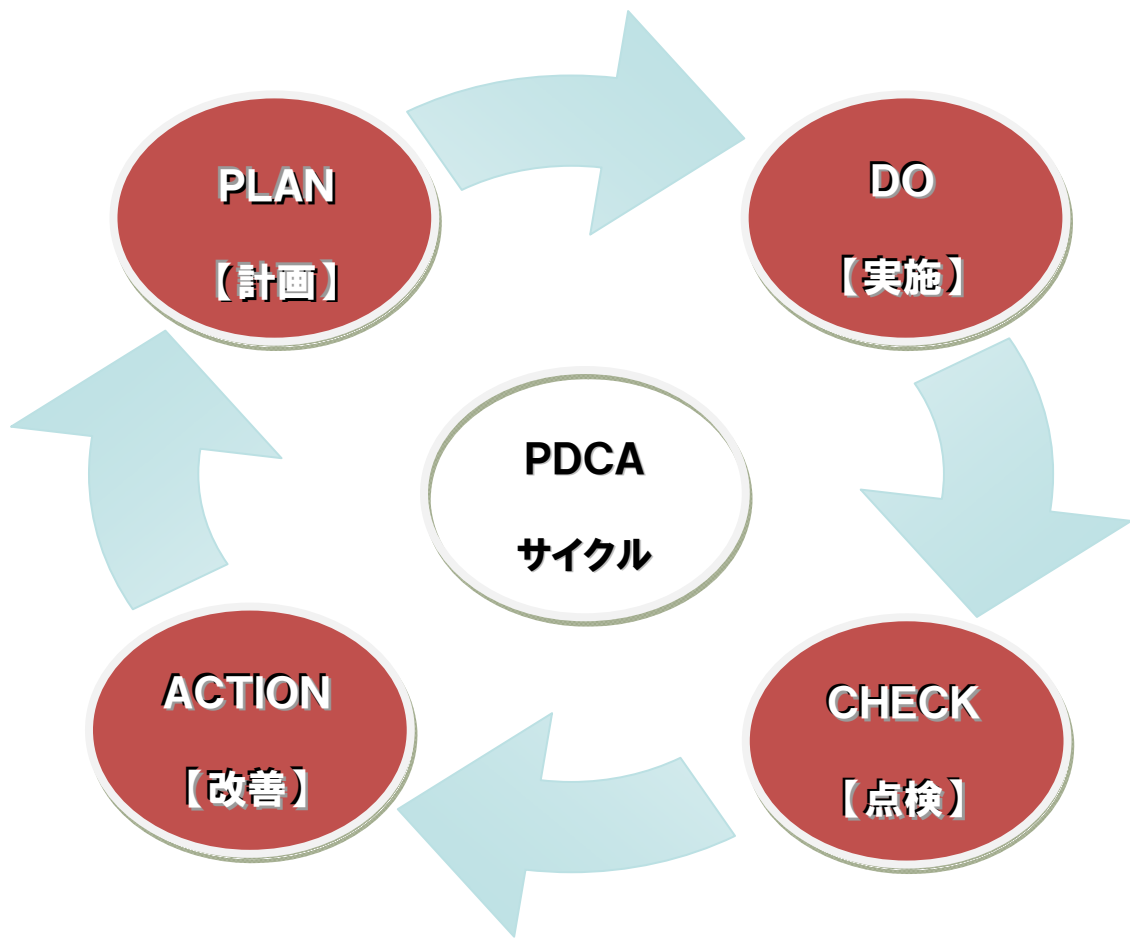


平成28年度北見市施策評価  
外部評価報告書



平成28年11月  
北見市行政評価委員会

# 報告書目次

<b>1. 報告にあたって</b>	1
<b>2. 平成28年度外部評価の概要</b>	2
(1) 評価対象の選定	2
(2) 行政評価委員会の開催経過	2
(3) 評価の方法	3
(4) 評価の考え方	3
<b>3. 外部評価結果</b>	4
(1) 施策の個別評価結果	4
(2) 職員の評価に取り組む姿勢	4
(3) 施策評価シートに記載	4
(4) 適正な施策の達成指標・目標の設定	5
<b>4. 今後の行政評価のあり方</b>	6
<b>5. 北見市行政評価委員</b>	6
■別紙 北見市行政評価委員会評価結果（平成28年度）	7

## 1. 報告にあたって

北見市行政評価委員会では、合併後の北見市において、これまで9年間にわたり合計278の事務事業の評価を行ってきました。

評価の中で、当委員会は、今後の行政評価のあり方として、『総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めていくうえでは、事務事業を束ねる「施策」単位での「目標達成に向けた成果や進捗状況」を評価・検証する「施策評価」を導入し、総合計画の進行管理を適切に行っていくこと、また、まちづくり基本条例第17条第2項「市長等は、市民、専門家等による外部評価の仕組みを整備するよう努めるものとする」の規定に基づき、評価委員に市民を加えることが望ましい。』など様々な提言をしてきました。

提言を受けて北見市は、市民公募委員も加えた総勢7名の委員によって行政評価委員会を構成し、従来行っている事務事業評価に加え、昨年度より総合計画に掲げた「まちづくりの方向性」と「事務事業」を結びつけた「施策評価」を実施しました。

当委員会では、市民アンケート調査において、比較的市民満足度が低いと評価された施策に対し、内部で行った「施策評価」を基に関係部局のヒアリングや意見交換等を行いました。

さらに、本報告書においては施策評価に関する内部評価・外部評価の手法などを踏まえ、「今後の行政評価のあり方」について当委員会としての意見を取りまとめました。

今後とも、当委員会で意見交換したことや報告していること等について庁内で活発に議論を行い、北見市が行政評価システムの運用改善などを通じ、市民誰もが希望に満ち、活力あふれるまちづくり施策を展開していただくよう期待します。

## 2. 平成28年度外部評価の概要

### (1) 評価対象の選定

評価対象項目の絞り込みについては、6つの基本目標のなかにある45の分野別施策のうち、平成27年度実施の「北見市総合計画・後期基本計画に関する市民アンケート調査」結果で得られた比較的満足度が低い施策8つを評価対象として選定しました。

基本目標	施策コード	分野別施策	主管課
自然と共生する安全・安心のまちづくり	1-2	地域の安全確保	市民生活課
豊かな心と文化を育てるまちづくり	2-9	芸術・文化活動の振興	生涯学習課
	2-10	生涯スポーツの振興	スポーツ課
	2-11	文化財の保護・継承	文化財課
支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり	3-2	地域福祉活動の促進	社会福祉課
活力を生み出す産業振興のまちづくり	4-2	地域特性を活かした農業の振興	農政課
住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり	5-3	公共交通の確保	地域振興課
市民とつくる信頼と協働のまちづくり	6-2	行政サービスの向上	総務部総務課

### (2) 行政評価委員会の開催経過

当委員会は、市が行った施策評価に対して、関連部局のヒアリングを行いました。そして、ヒアリングにおける説明や質疑を踏まえ、委員ごとに指摘事項を出し合い、合議により意見の取りまとめを行いました。

会議	開催日	内容
第1回	平成28年 8月 2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>委嘱状交付</li> <li>外部評価の進め方について</li> </ul>
第2回	平成28年 9月 9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部局とのヒアリング (3施策)</li> </ul>
第3回	平成28年10月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部局とのヒアリング (3施策)</li> </ul>
第4回	平成28年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係部局とのヒアリング (2施策)</li> <li>平成28年度施策評価 (内部評価) の総合評価について</li> </ul>

### (3) 評価の方法

評価については、今年度実施した内部評価を確認し、事前に整理した質問事項を中心に、主管課から説明を受けた後、質疑応答を行いました。ヒアリング終了後、意見交換を行い、外部評価シートにまとめました。

### (4) 評価の考え方

行政評価は、行政（市）が行っている事業について行政（市）自ら評価・検証を行い、その結果を見直しや改善につなげ、より効果的・効率的な行政運営を遂行していくための仕組みです。

しかし、業務に精通する職員による自己評価は、ややもすると前例踏襲的な評価、客観性に欠けた評価になりやすいことから、改善・見直しに至らない可能性が危惧されます。当委員会は市が行う自己評価に対して、市民の目線から、行政評価の妥当性について各委員がそれぞれの専門性を活かしながら意見を出し合い、評価を行いました。

さらに、施策評価シートという方法で施策についての内容説明ならびに自己評価を市民に開示することから、その記述の在り方、形式面についても議論の対象としました。

#### ◆外部評価に際しての考え方の視点と項目

項目	内容
施策目標の達成度 「施策の現状とこれまでの取り組み及び成果」 「施策評価指標と目標値・達成度」	・ 総合計画に示されている施策の目標の達成度。（指標以外の内容も含む）
課題認識 「主要施策の評価」 「課題及び解決策」	・ 内部評価で課題をきちんと認識し、改善につなげているか。 ・ 外部から見て、漏れている課題はないか。
総合評価 「全体総括」 「総合評価」	・ 課題の改善や施策の見直しに向けて、今後の方向性が明確になっているか。 ・ 施策の目標達成に向けて望ましい方向になっているか。 ・ 市民に分かりやすい記載となっているか。 ・ 目標達成に向けた手段の改善が適正か。 ・ 目標達成に向けた事務事業の見直しが検討されているか。

### 3. 外部評価結果

#### (1) 施策の個別評価結果

「2.(4) 評価の考え方」で示した「◆外部評価に際しての考え方の視点と項目」に沿い、評価の対象として選定された8つの施策について評価を行いました。

施策ごとの評価の詳細については、**■別紙 北見市行政評価委員会評価結果(平成28年度)**をご覧ください。

#### (2) 職員の評価に取り組む姿勢

施策評価の本来の目的は、市の職員が行政評価を通じて、「総合計画・基本計画の政策体系の中で果たすべき役割を認識しながら、各事業の目的、成果、課題、コストを意識し、市民目線に立って、事業の見直し、事務の改善に取り組み、効果的かつ効率的な行政運営に取り組むこと」です。

しかし、今回、外部評価を実施していく中で、いくつかの課題が挙げられました。

- ・ 施策を達成するための事務事業という認識が薄い
- ・ 施策評価結果と施策の目標達成に向けた改善内容について整合性がとれていない
- ・ 一部の内容に偏りがみられ、施策という大枠での評価ができていない
- ・ 課題の把握、またその解決策に向けた具体の方向性がはっきりしていない

これらの点に気づく、認識することが重要であると思いますので、研究・検証を継続し、改善点がないか、問題意識を常に持つようにしてください。

#### (3) 施策評価シートの記載

施策評価シートの記載にあたっては、様々な改善が必要と思われます。

施策を評価する、総合計画の進捗管理を行うという目的に沿った評価をするとともに、市民の目線に立ち具体的でわかりやすい記述及び様式にするよう心がけ、改善に努めてください。

当委員会は、ヒアリングを通して内容の詳細を把握し、シートの不明な点について確認することができますが、市民は公表されるものだけを見ることになります。今後も下記の点に留意しながら評価シートを作成するようにしてください。

- ・ 施策評価シートは、市民に対し、北見市の将来像に向けてどのように施策として取り組んでいるかを分かりやすく説明する手段であることから、何かの事業に偏るのではなく、施策という大枠でみた全体の評価をしてくだ

さい。

- ・今後どのような方法で施策の目標実現へ向けた事業を展開していくのか、できるだけ具体的な言葉を用いて、市民の目線に立ったシート作成を心掛けてください。計画名ばかりを羅列した説明は控えてください。
- ・施策評価シートには、空欄を作らないことを基本としてください。また、記載欄の大きさに合った記述量をもって、具体的に記載してください。
- ・施策評価シート上の「現状」「目指す方向」「課題」「解決策」は相互に関連しています。内容について、整合性がとれた評価をしてください。
- ・評価の基準が担当課それぞれで異なるように感じました。同じものを作成する以上、各課で基準のずれが生じないような工夫を検討してください。

#### (4) 適正な施策の達成指標・目標の設定

設定された施策達成指標の妥当性及び達成度を検証するという作業は、この行政評価システムの根幹を成すものです。事業を実施することにより施策としてどのような状態にしたいのか、施策の達成度合いが市民に伝わるような指標を設定する必要があります。

今後新たに策定する総合計画において、そのような改善がみられることを期待します。

- ・今後も後期基本計画に掲げられている施策の達成指標・目標としての「市民満足度指標」「成果指標」の進捗管理を行い、将来像に向けた事業の展開をしてください。
- ・平成30年度に総合計画を策定するにあたり、施策という大枠を網羅する適正な指標を設定してください。

効果的な事業手法や施策目標の達成状況を図るための成果指標のあり方などについて再検証を行うことが各課の施策目標の達成に向けた今後の重要な取り組みになると考えます。

施策ごとの指標・目標設定に向けた意見は、**別紙 北見市行政評価委員会評価結果（平成28年度）**をご覧ください。

## 4. 今後の行政評価のあり方

北見市の行政評価システムは本年度で導入から16年目を迎えます。

財政面において一段と厳しさが増す中、北見市総合計画に基づく、総合的かつ計画的なまちづくりを進めるうえで、施策を推進する各課が施策評価シートの作成を通じて、市民満足度、事務事業の構成、施策目標の達成状況などの確認を行うことで、施策について客観的に顧みることが可能になります。こうした意味で「施策評価」は重要な役割を果たすと考えます。

今後も今回の施策評価の外部評価を実施したことで浮き彫りになった課題や改善点を踏まえて、今後の施策評価-事務事業評価といった各段階の行政評価の改善に取り組み、よりよい行政運営につなげていただくよう期待しています。

当委員会において、以下のとおり「今後の行政評価のあり方」のポイントをまとめましたので、行政内部での十分な検討を望みます。

- ・P D C Aサイクルの確立を通じ、職員自らが問題点や課題を発見し、どう改善していくのかを常に模索し、継続的に改善しながら事業を実施していただきたい。
- ・行政評価の基礎である「事務事業評価」は個々の事務事業の効率性、有効性等をチェックしていくために今後とも継続して行っていくことが必要である。
- ・事務事業評価を束ねる施策単位での目標達成に向けた進捗状況や成果を評価・検証するため、市民にもわかりやすい「施策評価」の方法を検討していただきたい。

## 5. 北見市行政評価委員

北見市行政評価委員会

委員長	矢 萩 悦 啓	副委員長	上 野 栄 一
委員	川 口 由 美	委員	轡 田 真 治
委員	福 地 章 子	委員	古 川 公 二
委員	渡 邊 康 玄		





**【別 紙】**

**平成 2 8 年度北見市施策評価**

**北見市行政評価委員会 評価結果**

## 北見市行政評価委員会 評価結果

基本目標	施策コード	分野別施策	主管課
自然と共生する安全・安心のまちづくり	1-2	地域の安全確保	市民生活課
豊かな心と文化を育てるまちづくり	2-9	芸術・文化活動の振興	生涯学習課
	2-10	生涯スポーツの振興	スポーツ課
	2-11	文化財の保護・継承	文化財課
支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり	3-2	地域福祉活動の促進	社会福祉課
活力を生み出す産業振興のまちづくり	4-2	地域特性を活かした農業の振興	農政課
住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり	5-3	公共交通の確保	地域振興課
市民とつくる信頼と協働のまちづくり	6-2	行政サービスの向上	総務部総務課

※詳細は平成 28 年度施策評価シート（総合計画管理チェックシート）、平成 28 年度外部評価シートをご覧ください。尚、各施策に付随する事務事業一覧は省略いたします。

平成28年度施策評価シート(総合計画管理チェックシート)

(総合)

施策コード	1-2
分野別施策名	地域の安全の確保
基本目標(政策)	自然と共生する安全・安心のまちづくり

主管部課名	市民環境部市民活動課
関連部課名	市民活動課、市民生活課、指導室、学校教育課、学総務課、土木課、道路管理課、北見地区消防組合(消防本部)

現状とこれまでの取り組み及び成果	昭和60年に市内で勃発した暴力団抗争事件を契機に、暴力や犯罪のない安全、安心なまちづくりを目的として北見市暴力追放推進協議会、北見警察署及び関係行政機関等と連携し、暴力追放市民集会など広報啓発活動を行い、暴力団活動の衰退に資するものとなっている。各自治区では各地域暴力追放推進協議会が設置され、訓子府町、置戸町も参加する、北見地区暴力追放推進協議会を組織し、各種暴力追放活動を展開してきた。また、防災、防火意識の啓発については地域による自助・共助の意識高揚に向け、防災フェスティバル、防災訓練を積極的に行うほか、各地域の消防関係機関と連携し、住宅用火災警報器のさらなる設置促進や応急手当講習会を行い、防災意識の高揚につなげている。また、北見地区の交通事故件数では、平成21年度に400件を超えていたが、平成27年度には242件まで減少している。
------------------	--

施策評価指標と目標値・達成度	指標名	指標の説明	初期値	H26	H27	H28	H29	単位	H30 目標値	
										目標
市民満足度指標	「防犯の面で安全である」	「防犯の面で安全である」と思う市民の割合	目標	↑				68.0	%	↑
			実績	61.6		65.0				
			達成度			↑				
市民満足度指標	「交通安全対策が充実している」	「交通安全対策が充実している」と思う市民の割合	目標	↑				75.0	%	↑
			実績	70.3		72.1				
			達成度			↑				
市民満足度指標			目標						%	
			実績							
			達成度							
成果指標	交通事故発生件数	市内における交通事故発生件数(各年1月1日～12月31日)	目標	↓		↓	↓	↓	件(年間)	195.0
			実績	290	277	242				
			達成度		57.9%	75.9%				
成果指標	市内犯罪発生件数(北見警察署管内)	刑法犯罪発生検挙状況	目標	↓		↓	↓	↓	件(年間)	↓
			実績	595	531	570				
			達成度		↑	↓				
成果指標	子ども110番の家登録件数	地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていく活動の指標	目標	↑		↓	↑	↑	件	↑
			実績	3806	3585	3585				
			達成度		↓	→				
成果指標			目標						%	
			実績							
			達成度							
成果指標			目標						%	
			実績							
			達成度							

主要施策の評価	主要施策名	貢献度	方向性	主要施策名	貢献度	方向性
	(1)	防犯活動の推進	高い	現状維持(5)		
(2)	交通安全対策の充実	高い	現状維持(6)			
(3)	防災・防火意識の高揚	高い	現状維持(7)			
(4)				※貢献度～高い・普通・低い ※方向性～現状維持・拡充強化・縮小		

課題及び解決策	市内の防犯団体活動の推進体制を強化していく必要があるため、北見市安全安心の地域づくり推進協議会を通じ、北見警察署や関係団体等と連携し、各種防犯活動団体の支援を行っていく。また、交通安全対策については平成28年度、第10次交通安全計画の骨子が国から示された段階で、国の施策に沿った第10次北見市交通安全計画を策定するべく、関係団体と協議を行っていく。少子高齢化を迎え、地域コミュニティにおける地域防災体制の確立、強化が必要。また、市民と各消防機関が協力連携して、地域の防火・防災力の向上に努める。
---------	---

全体総括	安全・安心のまちづくりをすすめるため、市民と各種関係団体が連携し、地域住民が主体的に取り組むまちづくりの発展に寄与している。	総合評価  <b>B</b>  目標に向かってある 程度進んでいる
------	--	---

平成28年度施策評価シート(総合計画管理チェックシート)

(総合)

施策コード	2-9
分野別施策名	芸術・文化活動の振興
基本目標(政策)	豊かな心と文化を育てるまちづくり

主管部課名	社会教育部生涯学習課
関連部課名	生涯学習課、文化財課、中央公民館 留辺薬生涯学習課

現状と これまでの取り組み 及び成果	人々が芸術文化にふれることは、生活に潤いを与えるだけでなく豊かな心と地域文化を育てる環境づくりに結びつくものである。こうしたことから、北見市民会館や芸術文化ホール等の文化施設で多くの市民、かつ幅広い年代層の方々が優れた各種舞台芸術にふれる機会を提供してきた。また、市民芸術祭など自ら学んだことや磨いた技術などの発表機会を提供してきたほか、北網圏北見文化センターでは美術等の企画展を開催し多くの市民の方々に鑑賞いただいたほか、関連事業として絵画技法の講座を開催するなど市民が芸術活動に取り組む機会を提供し着実に愛好家も増え市の芸術文化振興に寄与することにつながっている。
--------------------------	--

施策評価指標と目標値・達成度	指標名	指標の説明	初期値	H26	H27	H28	H29	単位	H30		
									目標値		
市民満足度指標	「文化施設が充実している」と思う市民の割合	目標	↑						%	↑	
		実績	43.8		48.5						
		達成度			↑						
		目標							%		
		実績									
		達成度									
		目標							%		
		実績									
		達成度									
	成果指標	芸術公演鑑賞者数	目標	4,000		4,000	4,000	4,000	人/年間	%	4,000
			実績	4,134	2,891	7,087					
			達成度		72.3%	177.2%					
企画展入場者数		目標	→		6,000	6,000	6,000	人/年間	%	6,000	
		実績	5,508	8,742	4,187						
		達成度		145.7%	69.8%						
イベント開催数		目標	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	回	%	1,100	
		実績	-		898						
		達成度			81.6%						
		目標						%			
		実績									
		達成度									
	目標						%				
	実績										
	達成度										

主要施策の評価	主要施策名	貢献度	方向性	主要施策名	貢献度	方向性
	(1)	芸術・文化活動の促進	普通	拡充強化 (5)		
(2)			(6)			
(3)			(7)			
(4)			※貢献度～高い・普通・低い ※方向性～現状維持・拡充強化・縮小			

課題及び解決策	より多くの市民が、また幅広い年代層の市民が芸術文化に触れる、また活動を行うことが望ましいが、こうした活動を担う文化団体等では高齢化や活動者の減少などが進み活動自体が衰退傾向にある。そのため、団体育成支援や個人の活動に対する支援策の拡充が必要である。
---------	--

全体総括	市民が良質な舞台等の芸術文化にふれる機会、また優れた美術作品を鑑賞する機会はこの地域に住んでいると普段はなかなか得られないものである。また、自ら磨いた芸術活動の発表機会も個人で行うことは困難であります。しかしながら、芸術文化を鑑賞する、発表する等、芸術文化を身近に親しむことは、人々に豊かな心と地域文化を育てる環境づくりに結びつくものとなることから、必要な施策となりえているものと考えられます。施策に基づく各種芸術文化関連事業もとより多くの市民の方々が、さらに幅広い年代層の方々が機会を得ることが必要である。
------	--

総合評価	B
目標に向かってある 程度進んでいる	

平成28年度 北見市行政評価

外部評価シート

主管部課	市民環境部 市民活動課
関連部課名	市民活動課、市民生活課、指導室、学校教育課、学) 総務課、土木課、道路管理課、北見地区消防組合（消防本部）

施策コード	1-2	分野別施策名	地域の安全の確保
基本目標	自然と共生する安全・安心のまちづくり		

**意見**

・課題及び解決策は細かく書いているのに対し、全体総括では記載が不足していると感じる。課題等が多々あることに対し、総合評価が「B」となる詳細を記載してください。

※次期計画策定に向けて

・防災・防火意識の高揚の指標としては火災報知器の設置数を加えてはどうか。

平成28年度 北見市行政評価

外部評価シート

主管部課	社会教育部生涯学習課
関連部課名	生涯学習課、文化財課、中央公民館、留辺蘂生涯学習課

施策コード	2-9	分野別施策名	芸術・文化活動の振興
基本目標	豊かな心と文化を育てるまちづくり		

**意見**

・芸術文化にふれる機会があると記載されているが、どこに記載されているか分からないので明確化してください。

・活動自体が衰退しているのに、芸術文化に寄与しているという関連がわかるように記載してください。

※次期計画策定にむけて

イベントの開催数、市民イベントの参加者推移、出店者数、イベントの満足度などを指標に加えてはどうか。

平成28年度施策評価シート(総合計画管理チェックシート)

(総合)

施策コード	2-10
分野別施策名	生涯スポーツの振興
基本目標(政策)	豊かな心と文化を育てるまちづくり

主管部課名	社会教育部スポーツ課
関連部課名	端野教育事務所生涯学習課 常呂教育事務所生涯学習課 留辺蘆教育事務所生涯学習課、温根湯温泉支所

現状とこれまでの取り組み及び成果	<p>人々の健康・体づくり意識の高まりとスポーツへの市民ニーズが多様化する中、市民が日常的にスポーツに関わり親しむことができるよう、スポーツ施設の整備や維持管理、指導者の養成・活用、スポーツ教室の開催、大会開催・派遣支援、学校開放事業の推進、スポーツ合宿や国際大会事前キャンプ誘致などに取り組み、スポーツ環境の整備とともに、レクリエーションスポーツ、競技スポーツの振興を図っている。</p> <p>近年はカーリング場、武道館、プールなど大規模スポーツ施設の更新も行われ、多くの市民にご利用いただいている。ソフト事業については、大会派遣支援は例年100件弱の実績、学校開放事業や教室の開催、年間延参加数13万人を超えるラジオ体操会などにより、市民のスポーツ活動の日常化が進んでいる。また、合宿誘致についても多様目、通年化が図られている。</p>
------------------	---

施策評価指標と目標値・達成度	指標名	指標の説明	初期値	H26	H27	H28	H29	単位	H30目標値	
										目標
市民満足度指標	「スポーツ、レクリエーション施設」	「スポーツ、レクリエーション施設が整っている」と思う市民の割合	目標	↑			60.0	%	↑	
			実績	51.0		56.1				
			達成度			↑				
				目標					%	
				実績						
				達成度						
				目標					%	
				実績						
				達成度						
	成果指標	スポーツリーダーバンク登録者数	スポーツリーダーバンク:要請に応じてスポーツ指導者を派遣する人材登録制度	目標	100	110	116	120	人	124
				実績	100	109	112			
				達成度		87.9%	90.3%			
成人の週1回以上のスポーツ活動実施率				目標	できるだけ早期に50%			55	%	↑
				実績	50					
				達成度						
				目標					%	
				実績						
				達成度						
				目標					%	
				実績						
				達成度						
			目標					%		
			実績							
			達成度							

主要施策の評価	主要施策名	貢献度	方向性	主要施策名	貢献度	方向性
	(1)	スポーツ環境の整備	高い	現状維持 (5)		
(2)	レクリエーションスポーツの振興	高い	現状維持 (6)			
(3)	競技スポーツの振興	高い	現状維持 (7)			
(4)				※貢献度～高い・普通・低い ※方向性～現状維持・拡充強化・縮小		

課題及び解決策	<p>市民のスポーツ活動実施率のさらなる向上、老朽化するスポーツ施設の適正な維持管理、合宿事業とスポーツツーリズムの推進などが課題としてあげられる。</p> <p>世代や志向、多様な市民ニーズに応じたスポーツ環境をスポーツ推進委員、関係団体等と連携し整えていくことでスポーツ実施率の向上を目指す。施設の維持管理等については、予算の範囲内において緊急性や妥当性などを勘案し適切に対応していく。また、本市がもつ豊富な施設、気象、自然、食などの優位性を生かしながら、トップスポーツにとどまらない多レベルの競技団体・個人に対し誘致・誘客を図っていく。</p>
---------	---

全体総括	<p>本市における生涯スポーツの振興を、4つのステージ【普及】【定着】【強化】【地域振興】に分けて総括すると、まず【普及】では、スポーツ人口・裾野の拡大を目指し、運動・スポーツへの入口の整備として「スポーツ教室の開催」や「指導者の派遣」「施設の維持管理」等に取り組み、【定着】では、スポーツの日常化を目指し、「指導者養成」や「学校開放事業」をはじめ、総合型地域スポーツクラブやラジオ体操会などの「コミュニティスポーツの振興」「施設の維持管理」等に取り組んでいる。</p> <p>また、【強化】では、より高いレベルへと競技力の向上を目指し、「スポーツ合宿事業」や「大会派遣・開催補助」「少年団育成」「関係団体との連携」等に取り組み、【地域振興】では、交流人口の拡大による地域経済への貢献を目指し、「スポーツ合宿事業」「大会誘致」「スポーツツーリズムの推進」等に取り組んでいる。</p> <p>全体的に4つのステージに対比比較のバランスよく取り組んでおり、今後も、これらの事業を効率・効果的に継続実施しながら、生涯スポーツの振興を計画的に推進していく。</p>
------	--

総合評価	A
目標に向かって順調に進んでいる	

平成28年度施策評価シート(総合計画管理チェックシート)

(総合)

施策コード	2-11
分野別施策名	文化財の保護・継承
基本目標(政策)	豊かな心と文化を育てるまちづくり

主管部課名	社会教育部 文化財課
関連部課名	総務部市史編さん・端野教育事務所 端野町歴史民俗資料館・常呂教育事務所 ところ遺跡の森・留辺薬教育事務所 生涯学習課

現状とこれまでの取り組み及び成果	文化財は郷土の歴史や風土、自然を表すもので、その成り立ちを理解することは、地域の現在と今後のあるべき姿を考え、マチづくりを進めていく基本となるものである。北見市ではこれまで、考古、開拓、人々の暮らし、産業、文化、また動植物、気候、地史、環境、生態系など様々な切り口から地域の調査研究や資料の収集・保護・保存を進めてきている。その成果は市史関係や各種報告書などの刊行物、博物館等での常設・企画展示、各種講座・講演会・見学会で、広く理解促進に努めている。近年はこれら文化財について、観光面での活用やその関係団体との連携を図る機会も増加している。
------------------	--

施策評価指標と目標値・達成度	指標名	指標の説明	初期値	H26	H27	H28	H29	単位	H30 目標値	
市民満足度指標	「歴史や伝統が大事にされている」と思う	「歴史や伝統が大事にされている」と思う市民の割合	目標	↑		↑		↑	%	↑
			実績	42.2		43.7				
			達成度			↑				
			目標					%		
			実績							
			達成度							
			目標					%		
			実績							
			達成度							
成果指標	歴史文化施設の利用者数	文セン(博物)、ピアソン、ハッカ、端野歴民、ところ遺跡の館、ところ埋文、常呂郷土、留辺薬開拓の合計入館者数	目標	50,000	43,000	43,000	43,000	43,000	人/年	43,000
			実績	41,279	39,549	39,284				
			達成度		92.0%	91.4%				
			目標					%		
			実績							
			達成度							
			目標					%		
			実績							
			達成度							
			目標					%		
			実績							
			達成度							

主要施策の評価	主要施策名	貢献度	方向性	主要施策名	貢献度	方向性
	(1)	文化財の保護と継承	普通	現状維持 (5)		
(2)			(6)			
(3)			(7)			
(4)				※貢献度～高い・普通・低い ※方向性～現状維持・拡充強化・縮小		

課題及び解決策	文化財の保護と活用は、現地アクセス・対応や劣化修理に係わり、見た目と真実性どちらを重視するかなど、相反する部分もあり、その調整は常に大きな課題となっている。これについては基本的に将来に向けて文化財の価値を損なわずに残していくことを前提とすることで、結果としてその魅力が維持され、多くの人の理解・関心を深めることに繋がるものとし、施策を進めていく。保護及び調査研究に関しては、いずれの分野においても、これまでその活動を担ってきた団体、有志、研究者等の後継者不足が課題となっている。有効かつ速効的な対策がなかなか見い出せないが、人材の発掘や維持管理方法の見直しを検討していかなければならない。
---------	--

全体総括	文化財の保護に関しては、今後も維持保全・修繕や整備等を適切に行い、その価値や魅力を保っていく。 また、調査研究や新たな資料の収集も継続して行い、これらの成果を広く公開・発信していく。 これらに沿った各種事業を進めることで、地域力を高め、さらに観光を含めた活用の拡充を図っていく。
------	---

総合評価	B
目標に向かってある 程度進んでいる	



平成28年度 北見市行政評価

外部評価シート

主管部課	社会教育部 スポーツ課		
関連部課名	端野教育事務所生涯学習課、常呂教育事務所生涯学習課、留辺蘂教育事務所生涯学習課、温根湯温泉支所		
施策コード	2-10	分野別施策名	生涯スポーツの振興
基本目標	豊かな心と文化を育てるまちづくり		

意見

- ・北見市としてのスポーツツーリズムの定義を解説してください。
- ・「課題及び解決策」においてスポーツツーリズムが課題と記載されているが、スポーツツーリズムは解決策であることから、その根拠となる課題を記載していただきたい。

※次期計画策定にむけて

市民満足度として、ハード（施設）に対する満足度に加え、利用者の満足度（ソフト）面での指標が必要ではないか。

平成28年度 北見市行政評価

外部評価シート

主管部課	社会教育部 文化財課		
関連部課名	総務部市史編さん、端野教育事務所、端野町歴史民俗資料館、常呂教育事務所、ところ遺跡の森、留辺蘂教育事務所生涯学習課		
施策コード	2-11	分野別施策名	文化財の保護・継承
基本目標	豊かな心と文化を育てるまちづくり		

意見

- ・市民満足度において、「歴史や伝統が大事にされていると思う」割合が半分以下にも関わらず、何を課題と考え、どのように取り組んでいこうとしているのかが評価シートから読み取れません。課題及び今後の方向性等を具体的に記載してください。
- ・市民満足度を上げる手段の一つとして、各施設の来場者アンケートの取り組み方を工夫し、市民の声から課題を把握し、解決策を見出すことも検討してください。

平成28年度施策評価シート(総合計画管理チェックシート)

(総合)

施策コード	3-2
分野別施策名	地域福祉活動の促進
基本目標(政策)	支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

主管部課名	保健福祉部 社会福祉課
関連部課名	介護福祉課、保護課、保育課、子ども支援課、青少年課、市民活動課、市民の声をきく課、学校教育課、指導室、生涯学習課、防災危機管理課、総務課、職員課、農政課、商業労政課、建築課、建

現状とこれまでの取り組み及び成果	かつての伝統的な家庭や地縁の価値観が変容し、相互扶助機能の弱体化に伴い地域住民相互の社会的つながりが希薄化するなど、地域コミュニティの崩壊が危惧されている。一方、超高齢化社会の到来と生産年齢人口の流出が地方自治体の存続を脅かす社会問題としてクローズアップされており、高齢者や障がい者など社会的弱者のおかれている状況は一層厳しさを増すものと見られている。こうした市を取り巻く社会経済的背景に鑑み、市では、平成18年2月、第1期北見市地域福祉計画を策定、その後平成23年3月に第2期計画を策定し、平成26年12月に立ち上げた策定委員会を中心に個別具体的施策の進捗に係る検証作業を実施し、第3期計画を策定した。
------------------	--

指標名	指標の説明	初期値	H26	H27	H28	H29	単位	H30 目標値	
									目標
「ボランティア活動が活発である」	「ボランティア活動が活発である」と思う市民の割合	目標	↑		↑		%	↑	
		実績	53.5		43.5				
		達成度			↓		%		
市民満足度指標		目標					%		
		実績							
		達成度					%		
ボランティア登録人数		目標	1,410	1,883	2,000	2,000	2,000	人	2,000
		実績	1,820	1,883	637				
		達成度		94.2%	31.9%			%	
ボランティア団体・グループ数		目標	102	88	102	102	102	団体	102
		実績	77	88	91				
		達成度		86.3%	89.2%			%	
成果指標		目標						%	
		実績							
		達成度						%	
		目標						%	
		実績							
		達成度						%	
		目標						%	
		実績							
		達成度						%	

主要施策の評価	主要施策名	貢献度	方向性	主要施策名	貢献度	方向性
	(1)	地域福祉計画の推進	普通	拡充強化 (5)		
(2)	地域福祉活動の推進	普通	拡充強化 (6)			
(3)	「こころのバリアフリー」の推進	普通	拡充強化 (7)			
(4)				※貢献度～高い・普通・低い ※方向性～現状維持・拡充強化・縮小		

課題及び解決策	策定委員会を中心に第2期計画に位置付けた個別具体的施策の達成状況等について検証作業を進めると同時に、市内15か所で住民懇談会を、課題や問題点の洗い出しを行い、第3期計画に市民の声、意見等を取り入れることができたと同時に、計画に位置付けられた個別具体的施策の実効性を高めるためのフォローアップ機能の充実が重要課題である。また、地域で共通している主要課題は、地域福祉の担い手となる自治会組織などの後継者不足、買い物弱者対策などが喫緊の課題となっている。今後第3期計画に基づき関係機関等と連携しながら地域福祉の向上に取り組んで行く。
---------	---

全体総括	第3期北見市地域福祉計画の策定に際し市内15箇所で開催した「地域福祉を考える住民懇談会」では、参加者から多種多様な生活課題が意見として出されたが、共通している課題は、著しい高齢化、若年層の地域からの流出に伴う地域福祉の担い手自体の急激な減少などがあり、地域コミュニティとしての存続が危ぶまれている点である。このため住民懇談会やアンケートの結果を踏まえて盛り込んだ個別具体的施策を進めるため、地域福祉の主要な担い手である自治会組織、高齢者クラブ、及び各種ボランティア団体と行政、社会福祉協議会との連携関係を強化していく必要があると考えている。
------	--

総合評価	A
目標に向かって順調に進んでいる	

平成28年度施策評価シート(総合計画管理チェックシート)

(総合)

施策コード	4-2
分野別施策名	地域特性を活かした農業の振興
基本目標(政策)	活力を生み出す産業振興のまちづくり

主管部課名	農林水産部 農政課
関連部課名	農林整備課、観光振興課、工業振興課、端野総合支所、常呂総合支所、留辺築総合支所、学校給食課、健康推進課、農業委員会

現状とこれまでの取り組み及び成果	農業従事者の高齢化や後継者不足、加えて輸入農産物との競合等、農業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、TPP等の新たな国際関係の動きもあります。このような中、本市においては、経営基盤の強化を図るため、規模拡大や関係機関と連携した新規就農者支援への取り組み、クリーン農業の推進等、食の安全・安心体制等にも取り組みを実施。
------------------	---

指標名	指標の説明	初期値	H26	H27	H28	H29	単位	H30目標値	
									目標
市民満足度指標 施策評価指標と目標値・達成度 成果指標		目標							
		実績							
		達成度					%		
			目標						
			実績						
			達成度					%	
			目標						
			実績						
			達成度					%	
	生産農業所得額	認定農業者の平均生産所得額	目標	1,000		1,000	1,000	万円	1,000
			実績	643	986	922			
			達成度		98.6%	92.2%		%	
年間新規就農者数	新規に就農した数	目標	20		5	5	人	20	
		実績	15	5	10				
		達成度		25.0%	50.0%		%		
耕作放棄率	耕作放棄地面積/(耕作放棄地面積+経営耕地面積) (農林業センサスより)	目標	0		0	0	%	0	
		実績	0.43	0.43	0.44				
		達成度		-	-		%		
地場産野菜の使用率(重量ベース)	学校給食での年間地場野菜使用量/年間野菜使用量	目標	50		85	85	%	85	
		実績	77.9	79.8	77.3				
		達成度		93.9%	90.9%		%		
		目標							
		実績							
		達成度					%		

主要施策の評価	主要施策名	貢献度	方向性	主要施策名	貢献度	方向性
	(1)	農業生産体制の強化	高い	現状維持	(5) 消費者と連携した農業の推進	高い
(2)	環境と調和した農業の推進	高い	現状維持	(6) 有害鳥獣による農業被害の防止	高い	現状維持
(3)	食の安全・安心の確保	高い	現状維持	(7) その他		
(4)	関連産業との連携	高い	現状維持	※貢献度～高い・普通・低い ※方向性～現状維持・拡充強化・縮小		

課題及び解決策	国際情勢では、経済のグローバル化によるTPPの大筋合意など国内農業を取り巻く環境は激動期にあり、輸入農産物の増加や国内外の産地間競争の激化や輸入農産物の残留農薬・遺伝子組み換え作物の流通問題等、食の安全・安心が懸念されております。国内では、就農人口の減少や後継者不足問題等、農業基盤の弱体化も危惧されており、対策強化が求められております。本市においても、基幹産業である農業の振興は地域の活性化に繋がることから、各種対策を推進します。
---------	--

全体総括	本市における持続可能な農業経営並びに経営基盤の強化や安全・安心な農産物生産を推進するため、第2次北見市農業振興計画を基に、北見市鳥獣被害防止計画や食育推進計画並びに第2次北見市地産地消推進計画の各種事業等を関係機関と連携のもと推進します。
------	---

総合評価	A
	目標に向かって順調に進んでいる

平成28年度 北見市行政評価

外部評価シート

主管部課	保健福祉部 社会福祉課		
関連部課名	介護福祉課、保護課、保育課、子ども支援課、介護福祉課、保護課、保育課、子ども支援課、青少年課、市民活動課、市民の声をきく課、学校教育課、指導室、生涯学習課、防災危機管理課、総務課、職員課、農政課、商業労政課、建築課、建設指導課、都市計画課、土木課、地域振興課、政策主幹		
施策コード	3-2	分野別施策名	地域福祉活動の促進
基本目標	支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり		

<b>意見</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状とこれまでの取り組み及び成果から課題及び解決策まで具体的な事柄が書かれていません。第3期北見市地域福祉計画は第2期のどのような課題を踏まえて、どのような対応としていくのかを記載してください。</li> <li>・計画名ばかりを記載するのではなく、それぞれの課題や取組等、具体的に記載してください。</li> <li>・ボランティア不足という課題に対し、対応策を提示していただきたい。</li> </ul>			

平成28年度 北見市行政評価

外部評価シート

主管部課	農林水産部 農政課		
関連部課名	農林整備課、観光振興課、工業振興課、端) 産業課、常) 産業課、留) 産業課、学校給食課、健康推進課、農業委員会		
施策コード	4-2	分野別施策名	地域特性を活かした農業振興
基本目標	活力を生み出す産業振興のまちづくり		

<b>意見</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体総括は、計画名ばかりを記載するのではなく、具体的な内容を記載してください。</li> <li>・課題に記載されていることは、日本全般の課題であり、市の課題ではありません。地域の特性を活かした農業としての課題を記載してください。</li> <li>・道半ばの事業が多い中で、ほとんどの評価がAという内部評価に疑問を感じます。再評価してください。</li> </ul> <p>※次期計画策定に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域特性を活かした農業の振興」の指標として、地域特性を図ることができるような指標を検討してはどうか。</li> </ul>			

平成28年度施策評価シート(総合計画管理チェックシート)

(総合)

施策コード	5-3
分野別施策名	公共交通の確保
基本目標(政策)	住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

主管部課名	企画財政部 地域振興課
関連部課名	

現状とこれまでの取り組み及び成果	平成24年3月に北見市地域公共交通計画を策定し、北見市の総合的な将来の交通体系を示した。近年、自家用車の普及、少子高齢化、人口減少等社会情勢の変化に伴い、利用者は年々減少傾向にあり、公共交通である路線バスの路線維持が厳しい状況である。利用促進策などを実施し、安定的な路線の確保を図っている。 取組みとしては、路線バスの夕陽ヶ丘線の開設やわかっバスの運行、厚和線のスクールバス混乗など地域の実情に合った交通システムの導入を図り、改善に努めた。さらに利用促進では、公共交通の広報誌「ニュースレター」の発行やきたみ交通バスマップの作成のほか、「ぼんちまつり」や「高齢者クラブ」などでバスの利用促進事業を展開した。
------------------	--

施策評価指標と目標値・達成度	指標名	指標の説明	初期値	H26	H27	H28	H29	単位	H30 目標値			
			市民満足度指標	「バスやJRなど利用しやすい」と思う市民の割合	目標 ↑		実績 58.4				58.7	
成果指標			目標					実績				
			達成度					↑	%			
			目標					実績				
			達成度						%			
			目標					実績				
			達成度						%			
		JR北海道の一日当たりの利用者数(北見駅)	北見駅の一日当たり利用者数	目標 ↑	→				実績 835	781	人	→
				達成度					↓	%		
		バスの一日当たり利用者数	バスの一日当たり利用者数(北見市内路線・郊外線)	目標 ↑					実績 6570	6830	%	→
				達成度					↑	%		
			目標					実績				
			達成度						%			
			目標					実績				
			達成度						%			

主要施策の評価	主要施策名	貢献度	方向性	主要施策名	貢献度	方向性
	(1)	バス交通の活性化	高い	現状維持	(5)	
(2)	鉄道輸送の充実・確保	高い	現状維持	(6)		
(3)	空港の利活用・機能の充実	高い	現状維持	(7)		
(4)				※貢献度～高い・普通・低い ※方向性～現状維持・拡充強化・縮小		

課題及び解決策	課題としては、自家用車や都市間バスなどへの依存度が高く、バスや鉄道などの公共交通の利用者は年々減少傾向にある。一方、高齢者の単身世帯が増えるなど交通弱者によるニーズがある。 今後に向けては、利用者ニーズをさらに把握するとともに、それぞれのニーズにあった公共交通システムの構築を目指していく。
---------	--

全体総括	<p>鉄道及び空路については、地域住民の貴重な移動手段であり、さらに観光振興や物流輸送の基幹をなすものであることから、今後とも公共交通の維持・確保に努めていく。</p> <p>また、身近なバスなどの公共交通については、利用者ニーズを把握するとともに、それぞれのニーズにあった公共交通システムの構築を目指していく。</p>
------	--

総合評価	B
目標に向かってある程度進んでいる	

平成28年度施策評価シート(総合計画管理チェックシート)

(総合)

施策コード	6-2
分野別施策名	行政サービスの向上
基本目標(政策)	市民とつくる信頼と協働のまちづくり

主管部課名	総務部総務課
関連部課名	IT推進課・人材育成主幹・都市再生推進室・文書課・道路管理課

現状とこれまでの取り組み及び成果	ワンストップサービス推進に向けては、ワンストップサービス推進会議を立ち上げ、北見市ワンストップサービス推進計画を策定し、フロアマネジャーの配置や番号発券機の導入などを行ってきた。平成28年度は窓口支援システムの稼働に向け、現在作業を進めているところがあります。新庁舎整備については平成32年度竣工に向け、基本計画を策定し、平成27年度から事業実施に向けた基本設計を進めてきた。文書管理システムについては平成26年度より供用を開始し、導入によりペーパーレス化に寄与するとともに、効率的かつ適正文書管理に寄与している。
------------------	---

施策評価指標と目標値・達成度	指標名	指標の説明	初期値	H26	H27	H28	H29	単位	H30 目標値	
			↑							↑
市民満足度指標	「各種公共施設が利用しやすい」	「各種公共施設が利用しやすい」と思う市民の割合	目標						%	↑
			実績	53		52.7				
			達成度			↓				
			目標						%	
			実績							
			達成度							
			目標						%	
			実績							
			達成度							
			目標						%	
			実績							
			達成度							
			目標						%	
			実績							
			達成度							
			目標						%	
			実績							
			達成度							
			目標						%	
			実績							
			達成度							

主要施策の評価	主要施策名	貢献度	方向性	主要施策名	貢献度	方向性
	(1)	市民サービスの向上	高い	現状維持 (5)		
(2)			(6)			
(3)			(7) その他(主要施策に分類されない事務事業)			
(4)			※貢献度～高い・普通・低い ※方向性～現状維持・拡充強化・縮小			

課題及び解決策	各課横断的な各種システムの導入や管理について将来的に所管すべき部署を定めることや、その体制構築が必要となり、ワンストップ推進会議などの場でシステム構築後どのような窓口体制が好ましいか協議検討を進めてまいります。庁舎建設については財源が合併特例債のため、平成32年までに完成させなければならないため、平成27年度から進めている新庁舎基本・実施設計において、整備内容の検討や具体的な設計を行い、建設費の高騰等も視野に入れ事業費の抑制と計画にあわせた事業の着実な推進を図る。
---------	--

全体総括	ワンストップサービスを継続して推進することにより窓口における市民サービスの向上を図り、現在11箇所の本庁舎機能は分散しているため、生じる市民サービス上の問題を解消するため、誰もがわかりやすく使いやすい安全な庁舎建設を目指します。また、全庁的に利用可能な共用基盤地図データの整備と提供を図ります。ワンストップについては事業内容が多岐に渡るが、窓口を持つ部局と連携を密にし、庁舎建設についても各部局の要望もくみ取りながら、市民サービス向上の観点から事業展開を図ります。
------	--

総合評価	A
	目標に向かって順調に進んでいる

平成28年度 北見市行政評価

外部評価シート

主管部課	企画財政部地域振興課
関連部課名	-

施策コード	5-3	分野別施策名	公共交通の確保
基本目標	住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり		

<b>意見</b>
・ 全体的に、書き込みが不足しているように感じます。具体的な取り組みを記載し、課題をしっかりと把握したうえで、今後の取り組みを記載してください。

平成28年度 北見市行政評価

外部評価シート

主管部課	総務部 総務課
関連部課名	IT推進課・人材育成主幹・都市再生推進室・文書課・道路管理課

施策コード	6-2	分野別施策名	行政サービスの向上
基本目標	市民とつくる信頼と協働のまちづくり		

<b>意見</b>
・ 社会保障税番号制度システム（マイナンバー）に関する事業は重要な事業と認識するが、多くの事業の公平性の評価がBとなっている。評価が上がるよう、取り組みを検討してください。 ※次期計画策定にむけて ・ 適切な指標を定めてください。